NIE実践報告

1．タイトル 総合的学習の時間で書く力を高める

2．学校名

神奈川県立伊志田高等学校

3．実践者名（代表者名）

関口康弘

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　233人

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞記事を読み自分の意見を書く」

7．目標(狙い)

書く力を向上させ、かつ情報を整理する力、得た情報で考える力をつける。

8．評価の視点

各自が選択した新聞記事について、時間内に４００字程度の感想および意見を書けたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「書く力を高める」4時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①以下の新聞記事を読み、選択し記述する。（1時間）
産経「日本人解剖　DNAでみる縄文人」神奈川「中学校理科、英語3割増　ゆとり教育部分修正」
朝日「冷めない男のスイーツ熱」　朝日「悪役は必要ですか」
朝日「米屋のカビから世界一の薬」　東京「冷遇　外国人学校に光を」
毎日「薬害肝炎訴訟和解勧告　全面解決正念場　国の謝罪カギ」
朝日「CO2削減義務化と排出量取引　迫る都V.S. 拒む企業」　朝日「摂食障害、心に向き合う」
②論文の題材を選択し、構想をたてる。（2時間）
③400~　800字の論文を記述する。（1時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

書く力をつけるための目的や最終的な到達点を説明し、取り組みを始めたが、ほとんどの生徒が私語も無く真剣に取組んだ。

12．成果と課題

いかに生徒たちが書く力の向上を渇望しているかを知る実践になったことは貴重であった。また、書く力の必要性を生徒たちに認識させ、それをつけることの大切さを理解させることができた。